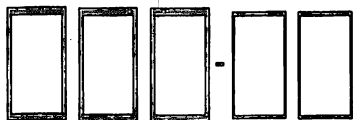




POST CARD



蔵王連峰・蔵王のシンボル火口湖“お釜”

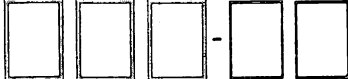
お釜は、かつての中央火山の最後の爆裂火口に水がたまってできた火口湖で、直径360メートル、水深は平均40メートル、乳白色のまじったコバルト色の水をたたえ、蔵王のシンボルとなっている。

お釜の湖面は天気の状態に応じて日に五度も色が変わるため五色沼ともいわれる。そのため爆裂火口丘は五色岳（1674メートル）と呼ばれている。

Lake Okama : Zao



S T A M P
H E R E



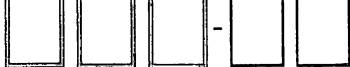
蔵王連峰・蔵王坊平高原

蔵王坊平高原は、標高1000メートルに開けた高原で、蔵王エコーラインの山形県側入口でもあり、真中には清澄で豊富な水を流す清水川が走っている。一面芝生でおおわれ、春はツツジの群落がみごとな花を咲かせ、夏はキャンプ場としてにぎわう。秋の紅葉もすばらしく、冬はスキー場となり、四季を通じて楽しめる。

Boudaira Heights : Mt. Zao



S T A M P
H E R E



蔵王連峰・コマクサ平より見る刈田岳と不帰の滝

刈田岳（1759）山頂には刈田嶺神社があり、刈田峠より蔵王ハイラインによって山頂近くまで車で行ける。刈田岳、五色岳、馬の背に囲まれた火口湖・お釜より流れ出る濁川は山々を大きくめぐり濁川浸谷となり、こまくさ平の付近で不帰の滝となる。

View of Mt. Katta : Mt. Zao



S T A M P
H E R E



蔵王連峰・樹氷原コースの樹氷とロープウェー

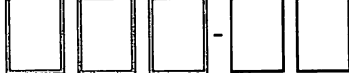
樹氷は蔵王特有の自然現象より生まれる。

冬になると、蔵王の西方にある朝日連峰に衝突した季節風は、断熱膨脹して水蒸気は凍らない水滴のままでマイナス10数度になる（過冷却水滴）。これが山形盆地の上空を渡って蔵王連峰のトドマツなどに突きあたると凍りつき、樹氷ができる。

Glazed Frost in near Mt. Jizo : Mt. Zao



S T A M P
H E R E



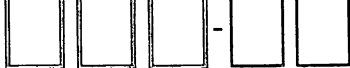
蔵王連峰・弘法坂付近のエコーライン

蔵王エコーラインは蔵王連峰を東西に横断して、山形県と宮城県をつなぐ山岳道路で、道路の最高標高は1610メートル、日本ではじめて運転のしやすいクロソイド曲線を取り入れた道路で、急カーブと急勾配にもかかわらず快適なドライブが楽しめる。

View of Zao Echo Line : Mt. Zao



STAMP
HERE



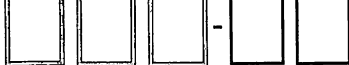
蔵王連峰・蔵王のシンボルお釜と五色岳

直径約360米のほぼ円形の湖で最深40米位。非常に酸性の強い水をたたえているので生物が棲めない。刻々にその色を変化するので五色沼の異名もある。

Okama (crater) & Mt. Goshiki : Mt. Zao



STAMP
HERE



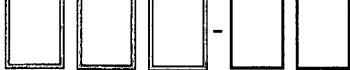
蔵王連峰・澄川の水を落す不動滝

「万緑の底に滝あり轟けり」の句に詠まれた不動滝は50米の高さから落ちる滝で蔵王山中最大である。川端竜子の手になる「蔵王不動」の大石碑がある。

Fudo Falls Mt. Zao



S T A M P
H E R E



蔵王連峰・蔵王温泉とエコラインを結ぶ蔵王ライン

蔵王温泉とエコライン坊平ゲートを結ぶ約6.4キロの快適なドライブウェイで、山腹を走る蔵王ラインはヘアピンカーブが多くドライバーはスリルを満喫できる。

View of Zao Line : Mt. Zao



大田親智 為我死而設軍人軍醫其妻供養

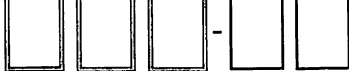
奉納
赤錢箱

大田親智 為我死而設軍人軍醫其妻供養

奉納

奉納

STAMP
HERE



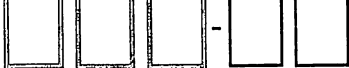
蔵王連峰・賽の嶺の地蔵尊

賽の嶺は標高1300米の火山岩と火山礫ばかりの荒涼たる岩原である。山岳仏教全盛期に霊場として修業が行われたところで、今も供養の石碑類が多くある。

Sai-no-kawara (volcanic rock field) : Mt. Zaō



STAMP
HERE



蔵王連峰・滝見台より見る三階滝

烏帽子岳北側から流れ出した水が三段の滝となつて沢川に落下する三階滝は、
高さ180米もあり、その姿を樹葉に囲ませて滝見台の正面に見える。

Sangai Falls : Mt. Zao



STAMP
HERE



蔵王連峰・蔵王の名所ドッコ沼

山の中にひっそりと静まりかえる美しい沼で蔵王温泉より、空中ケーブルやロープウェイを利用して短時間に行くことができる。この付近は散策路も多く、湖畔には数軒の山小屋が静かなたたずまいを見せている。ここから徒歩で主峰熊野岳を経て、火口湖お釜に至る登山道路も整備されている。

Dokkonuma Swamp : Mt. Zao



S T A M P
H E R E



蔵王連峰・盃湖から見た蔵王連峰と蔵王温泉

蔵王温泉は、標高 850 メートルの地点に竜山、鳥兜山、横倉山、にかこまれた大温泉街で四季を通じて楽しめるが、特に冬は蔵王スキー場の基地としてにぎわう。刺激の強い含硫化水素強酸性明ばん泉の湯が豊富に湧いている。

Zao Spa viewed from Lake Sakazuki : Mt. Zao



STAMP
HERE



蔵王連峰・雲湧谷付近のエコーライン
全国屈指の山岳観光道路である蔵王エコーラインを雲湧谷付近から眺めると、
この道路の特長であるヘアピンカーブがよくわかり、美しいパターンである。

View of Zao Echo Line : Mt. Zao



STAMP
HERE



蔵王連峰・大黒天と五色岳

大黒天より見る五色岳は実に雄大で、火山礫や火山灰の積み重ってできた岩石に硫黄気が作用して赤、緑、白などさまざまの色に変色している。ここには、山岳信仰の名残りとどめる小さな大黒様がまつられている。

Mt. Goshiki viewed from Daikokuten : Mt. Zao